

上野幌・青葉地域 **北側部会 ニュース**

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会はこれまで地域の4つの小学校を対象に検討してきました。平成28年9月からは北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても部会ごとに発行しています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

第7回部会について

1月29日（月曜日）午前10時から、上野幌小学校で第7回部会を開催し、新しい小学校の校名案などに関する検討を行いました。

決定事項**新しい小学校の校名案を募集します**

今回の部会で、**新しい小学校の校名案は公募**することを決定しました。

4月下旬に応募用紙を配布、配架する予定です。

たくさんの皆さまからのご応募をお待ちしております。

※公募の詳細や校名案の決定方法に関する協議内容については、4～5ページをご覧ください。

報告事項**個別に寄せられた
意見**

11月15日に開催した第6回部会以降、FAXで1件、メールで1件、合計2件のご意見等が事務局に寄せられており、その報告がありました。

- 北側でも新しい学校名を公募するならば、記名式だと、名前を書くことに抵抗のある人は必然と応募しない。公募の目的は、多くの案を集めてその中でよりよいものを選ぶことなのだから、応募の意欲をそぐような記名式とすることは最善の選択ではないと思う。
- 応募案を1人1つにしてしまうと、良案が出る確率も低くなってしまっているので、応募数の上限を2つ、3つにしてもよいのではないか。
- 公募した校名から検討委員会で候補を絞っても構わないが、最後は児童の総意に基づいて、児童の投票の結果によって最終的に決めることとしてほしい。検討委員会は、学校・PTA・地域の代表の集まりではあるが、地域全体の一部なので結果の公平性は完全ではないし、せめて校名は児童の希望を一番重視して決めてほしい。

（平成30年1月 FAX）

- 校区が広がると、南郷通付近の児童の通学負担が増えると思う。
- 将来的なことを考えず、児童数が少ないから2校を1校にまとめて、さらに児童が減少したらそのうち南側と統合させればよいのではという意図を感じる。
- 新札幌に近い恵まれた立地を活かし、子育てに優しい地域として小中学校と共に通学安全の問題などに新たな視点で検討を進めることができれば、地域の魅力も増して、若い世代へのバトンタッチも可能になると思う。 (平成29年12月 メール)

(事務局回答)

検討委員会では、統合の組合せについて様々な検討を行った結果、国道274号を横断する児童が生じないことなどを考慮して、青葉小学校と上野幌小学校、上野幌西小学校と上野幌東小学校の組合せとした経緯がございます。適正な学校規模を確保するために、児童数、学級数の推計値や通学距離など、様々なことを考慮しながら検討を進めてきたことを、ご理解いただきますようお願いいたします。

小中学校連携の取組 (報告)

冬休み期間中などに行われた、上野幌小学校・青葉小学校と青葉中学校の小中連携の取組について、報告がありました。

委員 (両小学校の校長) から

小学校同士の連携

- ◆青葉小学校でサタデースクールを12月2日に開催した。その際学校を通じて上野幌小学校の児童や保護者に案内をし、青葉小学校の児童や保護者と一緒に参加してもらった。

両小学校と中学校の連携

- ◆両小学校教員が青葉中学校の授業を参観した。授業のほかにも生徒の昼休みの過ごし方やその後の授業の開始の仕方、生徒の言葉遣いを見せてもらったので、今後の6年生の指導に活かすことができ、とてもいい機会となった。

今後の連携

- ◆卒業式に向けて、中学校の音楽の先生に式歌を指導に来てもらうことや、中学校の英語の先生に来てもらい、より英語に慣れ親しんでもらえるような授業の企画をしている。

青葉中学校から

小中学校の連携の取組について、青葉中学校から写真などを提供いただき、事務局で下記のようにとりまとめて報告を行いました。

青葉中学校では、今後も両小学校と連携を深めていくとともに、ホームページでの情報発信も行っていくとのことでした。

青葉中学校のホームページから（抜粋）

※新しい順

1 両小学校教員の青葉中学校の授業参観及び実務者会議

2018/1/17

小中連携事業の一環として、まだ冬休み中の青葉小と上野幌小の先生方に来ていただいて、授業を参観していただきました。また、それと並行して実務者会議を開き、今年度のまとめに向けての取組を話し合いました。



＜授業見学する先生方＞



＜社会科の授業＞



＜実務者会議＞

2 野球部の体験会

2017/12/16

小中連携事業の一環として、野球部の体験会を開きました。キャッチボールやバッティングなどをいっしょに行い、部活動の一部を体験してもらいました。



＜ミーティング＞



＜準備運動＞



＜バッティング指導＞

そのほか第5回の部会で報告のあった夏休み中の「部活動体験（8月7日）」や「小中学校間での教員による授業見学（8月23日）」の様子についても、ホームページに公開されていますので、ご覧ください。

＜青葉中学校のホームページ＞ <http://www16.sapporo-c.ed.jp/aoba-j/>

新しい小学校の校名案 について（検討）

新しい小学校の校名案について、上野幌・青葉地域南側地区（上野幌西小学校と上野幌東小学校）の検討の概要を参考に、協議を行いました。

南側地区：公募

公募対象	両小学校の児童、保護者、校区にお住まいの方、お勤めの方
応募方法	応募用紙に必要事項を記入し、事務局、小学校、まちづくりセンターへ提出 ※上野幌西小、上野幌東小、市内にある他の小学校と同じ校名は不可。公募対象者 1 人 1 案の応募とし、応募用紙に住所と氏名を記入。 ※校名の聞き取り間違いを防ぐため、電話での応募は不可
募集期間	平成 29 年 4 月 24 日～5 月 26 日（約 1 ヶ月間）
応募総数と検討の流れ	応募案の総数 84 案 検討委員会で候補を絞り込み 5 案 最終案を決定[ノホ口の丘小学校]

検討の結果

公募

することとし、下記のとおり公募概要をまとめました。
(校名案の検討方法に関する委員からの主な意見は次ページをご覧ください)

■「新しい小学校」の校名案の公募概要

1 公募期間		
●平成 30 年 4 月下旬～5 月下旬（約 1 ヶ月間）		
2 公募対象		
●上野幌小学校・青葉小学校の児童、保護者 ●上野幌小学校・青葉小学校の校区にお住まいの方 ●上野幌小学校・青葉小学校の校区にお勤めの方		
3 応募用紙（記載内容）		
●「小学 1～3 年生用」、「小学 4～6 年生用」、「保護者・地域用」の 3 種類 ●「上野幌小学校」や「青葉小学校」、札幌市内にある他の小学校と同じ校名は不可 ●「両小学校が閉校し、新しい学校づくりを進める」ことから、「上野幌」や「青葉」という名称を使わない（「上野幌〇〇小学校」「△△青葉小学校」などは不可） ●公募対象かどうかの確認と同一人からの複数応募の防止のため、住所と氏名の記入欄を設ける。 ●応募いただいた案は、北側部会で検討し、校名案を決定する。		
4 配布方法と提出方法		
対象者	配布方法	提出方法
児童	・小学校から配布	・小学校へ提出
保護者	・小学校から児童を通じて配布	・事務局へ郵送・FAX・E-mail で提出 ・小学校、まちづくりセンターへ提出 ※校名の聞き取り間違いを防ぐため、電話は不可
校区にお住まいの方 ・お勤めの方	・町内会の回覧で配布（各世帯での抜き取り） ・小学校、厚別南まちづくりセンター、青葉まちづくりセンター、厚別南地区センター、青葉児童会館、近隣の幼稚園、保育園に配架	

委員からの意見

校名案の検討方法について、委員から主に以下のようなご意見がありました。

■公募の実施

- お互いの子どもたちや地域の人々が納得のいく、後で喜んでもらえる校名に決まるとよいと思う。そのためにも公募を行い、たくさん意見を出してもらって、取組に関心を持ってもらうことが一番よい。
- 今までの学校統合の際には、必ず公募をしている。地域や児童から意見を募集することはよいことではないか。

■公募期間、公募対象

- 新しい小学校に直接関わる方に応募してほしいので、公募対象を上野幌小学校と青葉小学校の児童、その保護者の方々、校区にお住まいの方々などにすることはよいと思う。
- 公募期間はあまり長々とせず1カ月程度とするのがよいと思う。

■応募方法

- 何件も応募するのではなく、自分の意思が明確になるよう、住所氏名を記載したうえで一番よいと思う案を、責任を持って応募していただきたい。
- 関係する連合町内会が2つある中で、検討を進めてきた経緯がある。両地域に共通のものならよいが、「上野幌」や「青葉」が入った校名案どちらかを選ぶことは、禍根を残すのではないか。
- 歴史あるこの地域で「上野幌」「青葉」という名前を残したいと思っている人は少なからずいると思うが、「新しい学校を作っていく」という意思表示をする意味から「上野幌〇〇小学校」「△△青葉小学校」は、対象外としたほうがよいのではないか。
- 候補とはならない「上野幌」や「青葉」を含む校名案が応募されるのを防ぐためにも、最初から条件として応募用紙に明記すべきだと思う。
- 既存の学校名は使えないというだけでは、「上野幌〇〇小学校」のような校名案が多数応募されると思う。せっかくいただいた意見を活かすためにも、「新しい学校づくり」を進めるといった理念をはっきり伝えたほうがよい。
- 学校から児童や保護者の方に、「新しい学校を作る」という主旨をきちんと伝えることはできると思う。

- 地域の方などのいろいろなご意見、ご要望を聞き、それを参考にしながら部会の中で校名案を決めるのが一番よいと思う。
- 札幌市の学校名はまちの名称がほとんど入っているので、校名を考える際には、相当迷うのではないかと。良案が1つでも多く出るように、両校共通の事柄やこの地域の昔の状況など、校名案を考えるヒントになる情報を可能な範囲で応募用紙に明記してほしい。
- 歴史や地域性といった背景も検討の際に必要な観点だと思うが、実際に児童が通いたいと感じる校名案になればよいと思う。
- 将来小中一貫校を目指すという方向があるので、それも考慮に入れた校名案になるとよいと思う。
- 応募用紙はまちづくりセンターだけでなく、厚別南地区センターにも配架した方がよいのではないかと。

■その他

地域説明会について

上野幌小学校と青葉小学校の統合校開校に向けた地域説明会について、事務局から説明がありました。

概要

- ◇日時 平成30年2月24日（土曜日）
 - ① 午前10時から 上野幌小学校 3階多目的室（厚別南7丁目9番1号）
 - ② 午後2時から 青葉小学校 2階多目的室（青葉町6丁目2番24号）
- ◇内容 これまでの検討経緯、今後のスケジュール など
- ◇その他注意事項
 - ①と②は同じ内容です。
 - 駐車スペースが限られておりますので、自家用車での来校はご遠慮ください。
 - 土足厳禁となっておりますので、上履きと靴を入れる袋等をご用意ください。
 - 説明会の概要は、後日ニュースで皆様へお知らせするとともに、札幌市のホームページにも掲載します。

※説明会の案内は、児童を通じて両校区の保護者の皆さんに配布しているほか、地域の皆さんには、町内会回覧でお知らせしております。

第8回の部会について

第8回部会は、6月頃の開催を予定しており、新しい小学校の校名案の公募結果報告と、校名案の検討を行います。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

■ 上野幌・青葉地域 小規模校検討委員会 事務局 ■
 札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル
 TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837
 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ 検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>